

国語 第3学年 進行にそって、はんで話し合おう 検討会の想定問答

指摘 1：ねらいが曖昧ではないか。この単元で何を身に付けさせたいのか。

返し：中心はA(1)オ。目的や進め方を確かめて話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめる指導事項である。おすすめの一冊を決める話題は、意見がはじめてから分かれるので、共通点と相違点を比べてまとめる必要が生まれる。合わせて(2)イ「比較や分類の仕方」を、比べる表を使って指導する。

指摘 2：評価規準は何か。どこで見るのか。

返し：3観点で書いた。文末は国立教育政策研究所の参考資料に合わせ、知識・技能と思考・判断・表現は「～している」、態度は「～しようとしている」。知識・技能①は第4～5時の比べる表、思考・判断・表現①は第6～7時の話し合いの観察と比べる表・話し合いメモ・発表、態度①は第1時の観察と第8時の振り返りで見る。

指摘 3：言語活動は何か。

返し：A(2)ウ「互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動」。班で、すすめたい本と理由を伝え合い、比べて一冊に決める。

指摘 4：司会の子しか育たないのではないか。

返し：A(1)オは司会「など」の役割としてしているので、司会以外の子にも、理由を言う、質問する、同じ所と違う所を言う、という役割がある。司会は班の中で交代し、第8時には全員が司会の言葉を使う。評価は司会の出来ではなく、共通点や相違点に着目してまとめる発言があるかで見える。

指摘 5：多数決で決めてはいけないのか。

返し：多数決を禁じてはいない。ただ、A(1)オは「互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること」を求めているので、比べる前に多数決にすると、この指導事項を学ぶ場面がなくなる。共通点と相違点を確認した後でも決まらない時の方法として残している。

指摘 6：本を選ぶのに時間がかかる。読んでいない本をすすめる子が出る。

返し：第3時は学校図書館で、すでに読んだ本の中から選ばせる。第3の2(3)の「学校図書館などを目的をもって計画的に利用しその機能の活用を図る」に当たり、(3)オの「幅広く読書に親しみ」とも結び付く。単元の前から、読んだ本の記録を付けさせておくと選びやすい。

指摘 7：個に応じた指導はどうするのか。

返し：話すのが苦手な子には、おすすめカードを読み上げてから話してよいことにする。司会が苦手な子には、進行表の言葉をそのまま読めばよいと伝え、先生が次の言葉を指さす。早くまとまった班には、決めた理由を一文にまとめさせる。第3の1(9)の「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」に当たる。

指摘 8：ICTは使わないのか。

返し：二つの使い方を考えている。一回目の話し合いを端末で録音して第5時に聞き返すこと、比べる表を共有の画面で作って、全体で聞き合う時に映すこと。第3の2(2)の「コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会」に当たる。端末が無ければ、先生のメモと紙の表で同じことができる。

指摘 9：教科書の話し合いの例どおりでいいのか。

返し：教科書の例は、司会の言葉と進め方を見付ける材料として使う。話し合う本は学級の子が実際に選んだ物にするので、例をそのまま演じさせることはしない。教材は第3の3(1)の「言語活動が十分行われるよう教材を選定する」に沿う。

指摘 10：8時間も取れない。時間が足りない。

返し：8時間は光村図書出版の年間指導計画例の配当に合わせた。削るなら、第3時の本選びを朝の読書や図書の時間に回し、第7時の発表を短くする。学習指導要領は第3の1(4)で、第3学年及び第4学年の話すこと・聞くことに年間30単位時間程度を配当としているので、年間の中で時数を確かめて決める。

指摘 11：板書はどう使うのか。

返し：進行表と比べる表を同じ形で掲示し続ける。本時は、全体で聞き合った班の表を拡大した表に写し、共通点と相違点を色で分ける。A(1)オの「共通点や相違点に着目して」を、目で見えて分かる形にしたもの。

指摘 12：学習指導要領のどこに書いてあるのか。

返し：第2〔第3学年及び第4学年〕2内容の〔知識及び技能〕(2)イと(3)オ、〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)オと(2)ウ、学年の目標(2)(3)。原文は授業の設計図の「学習指導要領のどこに書いてあるか」の欄に載せた。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

